

# 道博協ニュース

発行所 北海道博物館協会  
事務局 〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2  
北海道開拓記念館内  
電話/011-898-0456・FAX/011-898-2657

## 第43回北海道博物館大会 7月8・9日、帯広市で開催

第43回北海道博物館大会および平成16年度北海道博物館協会総会を下記のとおり開催いたします。多くの会員の参加をお待ちしております。

会期 平成16年7月8日(木)～9日(金)

会場 北海道ホテル

〒080-0017 帯広市西7条南19丁目

電話 (0155) 21-0001

■大会テーマ 開かれた博物館をめざして  
—博物館と人づくり—

### ■大会日程

《1日目》 7月8日(木)

9:30～10:00 受付

10:00～10:30 開会式

- 1) 主催者挨拶 北海道博物館協会会長
- 2) 歓迎の辞 帯広市教育委員会教育長
- 3) 祝辞 日本博物館協会会長  
北海道教育委員会教育長

10:30～11:15 平成16年度北海道博物館協会  
総会

11:15～11:25 平成16年度北海道博物館協会  
表彰式

- ・登別市郷土資料館ボランティアグループS L G様
- ・世界のプラウと土の博物館 土の館  
館長 穂吉忠彦様
- ・ひがし大雪博物館友の会様
- ・北海道立帯広美術館ボランティアしらかばの  
会様
- ・小樽市博物館友の会 新倉加都子様

11:25～12:00 特別報告

「日本博物館協会の主要事業と最近の動向について」

報告：財団法人日本博物館協会

専務理事 五十嵐耕一氏

12:00～13:00 昼食

13:00～14:20 特別講演

「地域の形成

—十勝における町村編成を例として—

講師：大津・十勝川学会会長 君尹彦氏

14:30～16:50 シンポジウム

「開かれた博物館をめざして

—博物館と人づくり—

司会者：足寄動物化石博物館長 澤村寛氏

パネリスト：

札幌学院大学教授 鶴丸俊明氏

上士幌町ひがし大雪博物館

川辺百樹氏

帯広百年記念館ボランティアの会

池添久美子氏

16:50～17:00 閉会式

18:00～20:00 懇親会

(北海道ホテル2階新緑の間)

《2日目》 7月9日(金)

施設見学会

8:30～9:00 受付(十勝プラザ前)

9:00 十勝プラザ発

9:10 北海道ホテル発

9:15～11:40 施設見学

帯広百年記念館

北海道立帯広美術館

帯広市児童館

11:45 帯広百年記念館発

11:50 北海道ホテル発

12:00 十勝プラザ前解散

## 第43回北海道博物館大会開催地 帯 広 市

帯広市は、北は大雪山系、西を日高山脈に囲まれた十勝平野の中央部に位置する、人口17万余人を擁する十勝の中核都市です。市街地は市域の北に集中し、南には大規模畑作地帯が広がっており、澄んだ青空と雄大な大地が自慢のまちです。

市街地の南西に位置する緑ヶ丘公園は面積42.7ha、広大な園内には百年記念館や道立帯広美術館、動物園などの生涯学習施設をはじめ、400mベンチで有名なグリーンパーク、彫刻の径、多目的広場などがあり、市民の学習と憩いの場となっています。

### 緑ヶ丘公園の施設



#### 【帯広百年記念館】

帯広市の開拓百年を記念して昭和57年に博物館と創造活動センターの機能を有した十勝の広域複合施設としてオープンしました。

常設展示室は第1・2展示室に分かれ、十勝の歴史・自然・産業などを紹介しています。展示室に入ると「マンモスがいる風景」と題した、十勝平野に初めて人類が訪れたおよそ2万年前のようすを再現したジオラマが来館者を迎えます。

第1展示室ではおもに明治になって本州から多くの移民が入ってきた開拓期以後、今日に至るまでの十勝のようすを、「開拓の夜明けと発展」、「十勝の自然」、「十勝の暮らし」、「十勝農業王国の確立」の4コーナーに分けて紹介しています。第2展示室は「十勝平野の生い立ち」、「十勝の先史時代」「十



勝のアイヌ文化」の3つのコーナーで、日高山脈の誕生以後十勝平野が形成される過程、遺跡の出土資料から見えてきた先史時代、アイヌ文化のようすなど開拓以前の十勝を紹介しています。

創造活動センター部門は、館が主催する陶芸教室をはじめとする各種の講座の開催、さまざまな団体が開催する教室、会議などに利用されています。

#### 【北海道立帯広美術館】

平成3年に道立美術館としては5館目として開館。道東ゆかりの代表的な作家の作品や、近現代の版画・ポスターを中心としたプリントアート、バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を描いた西洋絵画などのコレクション作りが行われています。

博物館大会開催日は、主展示室では「安野光雅・絵本の世界展」、コレクション・ギャラリーでは「神田日勝と能勢真美―大地に生きた画家たち」が開催されています（7月14日まで）。

#### 【帯広動物園】

開園は昭和38年。熱帯系の動物(ライオン、アミメキリン、インドゾウなど)、北方系の動物(シベリアトラ、ホッキョクグマ、ヘラジカなど)、北海道にゆかりの深い動物(エゾシカ、オオワシ、エゾフクロウ)など76種約400点の動物を飼育、展示しています。園内には帯広・十勝と緑が深い冒険家・植村直己さんの足跡を展示した「植村直己記念館・氷雪の家」が併設されています。

なお、園は平成15年に博物館相当施設となり、さまざまな事業展開が行われています。

#### 【帯広市児童会館】

昭和39年に青少年科学館、児童文化センターとして開館、今年40周年を迎えます。科学展示室、プラネタリウム、天文台、科学実験室などの設備があります。

#### 【帯広市野草園】

昭和33年に開園。野草や樹木105科530種あまりが生育し、理科教育や自然観察のマナーを養う場として、また、市民の散策地として活用されています。

#### 【みどりと花のセンター】

緑あふれる街づくり推進の拠点施設として平成10年にオープン。庭作りのモデル展示場として、和風・洋風庭園が設置され、本館では講習会や緑の相談コーナー、植物広場などがあります。

帯広百年記念館学芸員 北沢 実



## 平成16年度 道央ブロックは、少し変化します。

平成16年6月1日(火)、札幌市青少年科学館において、石狩・後志・空知地区博物館等連絡協議会(通称:道央ブロック)の平成16年度役員会・総会・研修会を開催しました。会員数55館・園のうち、22館35名の方々にお集まりいただき、昨年度の事業報告・収支決算、今年度の事業計画・収支予算案等をご審議いただきました。

これまで道央ブロックは、平成10年の発足以来、交付金のみで事業を行ってきたことから、縮小的、消極的な面が多々ありました。会費を払う行為がないことから、会員も会員である自覚を持ちにくい環境でもありました。そこで事務局では、どうか仲間であるということ世間一般にアピールするとともに、会員である意識を高めてもらうことを目的として、ホームページを立ち上げることを提案しました。トップページは「道央ミュージアムネット」(仮称)とし、目に見える形で会員が情報を共有し、協同での事業を展開するきっかけをひろげていければと考えています。また、この地区の道博協団体会員が道央ブロック会員という

構成から、未加入の館・園に呼びかけ、新たな会員を求めることとなりました。そんなわけで、今年は少し、忙しくなりそうです。

総会後の研修会では、それぞれの館の実状、課題、工夫などを、3名の講師によりそれぞれの言葉で、ご講演いただきました。聴講した会員一人一人が、ご自分の所属する館・園と照らし合わせ、考えを持つことが出来たのではないかと思います。内容については、お話しいただいたタイトルからご想像いただければ、と思います。秋には、滝川市美術自然史館で研修会を予定しています。

□第1回 研修会(2004.6.1 14:30~16:00)

講演「活みなぎる科学館をめざして」

札幌市青少年科学館 館長 本間 英昭 氏  
事例発表

後志地区「赤字経営から黒字経営へ」

余市宇宙記念館 館長 岡田 啓一 氏

空知地区「博物館の現状と今後の課題」

三笠市立博物館 主任研究員 加納 学 氏

(道央ブロック事務局員・北海道開拓の村  
学芸員 黒川 郁)



## 江差町生涯学習センター郷土資料室 企画展「箱館戦争と江差」

江差町生涯学習センターの郷土資料室では、毎年複数回の企画展を催しており、現在は9月19日(日)まで、企画展「箱館戦争と江差」を開催しています。



われます。

そこで、今回の企画展では、戊辰戦争最後の戦いである箱館戦争について、特に江差との関わりを重点的に説明しています。

展示では、「清水谷公考」「正義隊」「館城」「会議所」「田沢野の処刑場」「招魂場」など、江差と関わりのある事柄を時間順に説明しています。

例えば、①箱館府知事として箱館にやってくる



途中に江差に立ち寄った清水谷公考が、当地の姥大神宮に奉納した和歌(掛軸)、②明治2年に再上陸した新政府軍が江差に置いた「会議所」の看板、③長州藩の品川弥次郎が江差を離れる際に、地元商人に対してピストルをプレゼントしたことが記してある古文書、などを展示しています。

また企画展に関連した活動として、

①担当学芸員による展示解説、②箱館戦争に関する古文書の解説講座、③箱館戦争に関する史跡や博物館を見学するバスツアー、④町外から研究者を招いての講座、⑤江差市外にある箱館戦争の史跡散歩、などを行います。

お近くまでいらした際には、ぜひお立ち寄りください。



(江差町生涯学習センター郷土資料室  
学芸員 宮原浩)

道北地区  
News

## 稚内市における 歴史的建造物基礎調査

ここ数年、稚内の歴史を見守ってきた由緒ある古い建物が取り壊されることが多くなっており、これらの建物が失われることは、稚内の歴史が消えて行くことに等しい。

日本最北端の稚内は、海峡・国境のまちとして特異な歴史性を長い間刻み、その歴史を語る建造物も残されており、現存する建物を稚内発展の文化遺産として位置付け、建物の記録と所在等の概要を把握するため基礎的調査を行った。

調査は地元建築士会と文化財保護委員等が情報収集を行い、実測等の現地調査は日本建築学会北海道支部に委託して行った。

稚内市恵北に現存する「旧海軍大湊警備府稚内通信隊幕別分遣隊庁舎」は道北最大規模の煉瓦建造物として注目された。大火の教訓から昭和27～35年の間、市内で煉瓦生産が行われ「声間煉瓦」として市内の建造物に多く取り入れられ、稚内市声間に現存する旧声間中学校体育館は「声間煉瓦」

を使用し大規模で建築様式が稀有な特筆すべき建築物として詳細な調査が必要となった。

平成14・15年の2ヶ年にわたる調査において150件の歴史的な建造物が確認され、旧日本軍関係の諸施設、旧声間中学校体育館など大型の煉瓦建物、煉瓦サイロ、煉瓦住宅、木造下見板の民間住宅など稚内を特徴付ける建物構成が明らかになり、調査報告書も刊行された。

地元建築士会と共同で行った、旧海軍通信施設の市民見学会では120名の市民が参加し、歴史的建築物の重要性が市民に認識されるようになり、この調査を機会に1棟でも多くの建物の保存が期待される。

(稚内市北方記念館 学芸員 内山真澄)



旧海軍通信所跡

日胆地区  
News

## 平成16年度の 総会と研究協議

平成16年度日胆地区博物館等連絡協議会総会は、今年度、研修を充実させることから、研究協議と野外演習を企画し、日高山脈館と国立日高少年の家を会場に6月2～3日に開催されました。

総会開会式では、日高町教育委員会齋藤征勇教育長が「文化・遺産を守り伝えていくのが博物館で、今の時代大切な役割があり、人を育てていく必要があります。」とのご挨拶をいただきました。

研究協議は倶知安町風土館文化財係長岡崎克則氏による「博物館活動における諸問題～学芸職を中心として」。アメリカでは人種差別や環境問題等ネガティブな課題について取り上げており、今の時代から次の世代へ課題を伝えている。「人を育てる」という意識が明確に伝わってきた。専門外のことを調べているうちに「おや～」と思う、すると、おもしろくなり、地域が好きになっていく。子供たちに博物館の利用の仕方を指導して、将来の博物館利用者に育てることを実践し始めている。風土館が「地域の人々が調べる場」として機能する

ことを目指している、とのことでした。

野外演習は写真家で北海道自然保護協会理事の稗田一俊氏による「沙流川をめぐるあれこれ～魚



野外演習で河川の状況を学ぶ

の目で河を見るすべを学ぼう」。サケを撮影してきた経験から、水が綺麗でも、魚がいない川が多い。魚が住み繁殖できる河川が減少した。川は砂や小さな石が大きな石を支えている。ダムができると上流から土砂が流れず、下流側の川底や両岸が削り取られてしまう。泥が流れると河川だけでなく沿岸の環境も破壊してしまう。魚が暮らす川の仕組みを子供たちに伝えていきたい、と述べられ、その後、実際の河川を見ながら演習を受けました。

えりも町郷土資料館 学芸員 中岡利泰

道東3管内  
News

## まちの歴史と文化を伝承する くねっぶ歴史館オープン

訓子府町では、新しい役場庁舎が建設されることに伴い、旧庁舎を先人の開拓の苦勞に感謝するとともにその偉業を、次代を担う子どもたち、そして後世にも伝えていくために「くねっぶ歴史館」として改修しました。

旧庁舎は、町政が施行された昭和26年に建設されたものであり、露出型の大きな柱や漆喰の壁など2階建ての建物には当時の特徴的な建築様式が多く残されているため、建物そのものに歴史的価値があるという観点からも保存・活用を図ることとしました。

館内の展示資料は、多くの町民から寄贈いただいた開拓資料約3,700点のうち、約500点を開拓や農林産業、衣食住などのコーナーに分けて展示しています。

また、開拓資料の展示はもちろんのこと、大き

な樹木を模したオブジェのある学習スペース、テレビやビデオを使用する講義・教室が実施可能な囲炉裏端ステージ、ごっこ遊びのできる駄菓子屋のセットなどを用意し、体験・交流型の施設づくりを目指しています。

年間の事業として、学校授業や社会教育事業での利用、各種講座・教室のほか企画展を実施し、9月には開館記念事業を開催する予定です。



くねっぶ歴史館(北側)

### 《問合せ先》

〒099-1403 常呂郡訓子府町東町400番地

訓子府町教育委員会社会教育課

TEL 0157-47-2121

(訓子府町教育委員会 社教主事 佐藤貴裕)

にすること、である。そしてこれらをプロモートしようとする学芸員の人的資質が強調された。

続いて釧路市立美術館の角井千代絵、小川原信記念美術館の矢吹俊男両氏に事例発表をお願いし、(助)地域創造の助成を受けて開催した「シャガール版画展」について(角井)と、香月泰男展と後志の連携事業について(矢吹)を報告してもらった。いずれも平澤氏の掲げたポイントに合致する事業であったといえるが、さらに資金面での話を特別講話で元地域創造派遣の右谷誠氏にいただき、地域創造の市町村美術館等活性化事業とその補助のシステムについて詳しく説明いただいた。

研究協議に続いて、日頃の問題点を協議。ここでは作品評価の在り方、日常的な地震対策の在り方などに様々な意見が寄せられた。総会では新特別会員に鈴木正實氏、新会員に芸術の森美術館の今井里江子、アルテピアッツァ美唄の千葉一夫、モエレ沼公園の宮井和美の各氏が承認された。また設立15年を迎える平成19年度に向け、各館のコレクションを収録した本の出版や北海道美術史の編纂などの記念事業を進めるため、委員会を立ち上げることが承認された。次回は平成17年3月3、4日に開催を予定している。

(北海道立近代美術館学芸副館長/  
研究協議会幹事長・佐藤友哉)

美術館  
News

## 平成15年度北海道美術館 学芸員研究協議会報告

平成15年度の北海道美術館学芸員研究協議会が去る3月5日と6日の両日、例年の会場である道立近代美術館で開催された。第12回を数える



今回、当協議会会員の出席者は26施設(25館1大学)からの44名に、新規入会会員3名、

オブザーバー1名を加えた計48名であった。

今年度の研究協議のテーマは「小規模美術館の未来をどう切り開くか」を設定。昨今財政面等で苦境に晒されつつある道内の美術館の事業や運営をどのように乗り越えたらいいのか、その具体策やヒントを協議しようという趣旨である。

まず岩手県東和町にある萬鉄五郎記念美術館の学芸員、平澤広氏にまず講話をいただき、開館以来の取り組みについて紹介していただいた。話のポイントは次の3点。①館の特性を認識すること、②資金を調達すること、③様々な組織と連携を密

## 新館オープン いしかり砂丘の風資料館

### ■海・川・河口の自然と歴史

今年4月27日にオープンした、いしかり砂丘の風資料館。北海道一の大河、石狩川の河口のすぐ近くにありま。館のテーマは「海・川・河口の自然と歴史」で、(1)石狩川河口地域の地域誌、(2)石狩紅葉山49号遺跡、の2本の柱からなっています。2階建ての既存施設の半分を間借して、360㎡を資料館として使用しています。

1階では明治以前から鮭漁で栄えてきた街の歴史や、海、川、河口の自然を取り上げています。かつて石狩川に遡上してきたチョウザメの剥製、6000年前のクジラや貝の化石、日本初の缶詰工場、石狩缶詰所に関する資料などを展示し、手づくり缶詰コーナーもあります。2階には、縄文時代の川辺に設けられていたサケ捕獲施設を中心とする遺跡、石狩紅葉山49号遺跡で出土した木製品などを展示しています。漁の仕掛けや日本最古・最大級の舟形容器などを見ることができます。



### ■オープンの背景

当館の開設の計画が具体化したのは、ほんの1年前、平成15年度中のことでした。これまで石狩市には、旧役場庁舎を利用して考古資料や生活用具を中心に簡単な展示だけ行なっていた郷土資料室があったのですが、道路の拡幅や再開発のため、同年度中に取り壊されることが決まっていたのです。その一方、発掘作業が終了したばかりの紅葉山49号遺跡では、数多くの貴重な発見があったため、その成果を市民に公開する場も求められるようになってきました。急遽オープンすることになった背景には、そんな要因があったのです。

### ■未完成の資料館、容易な展示更新

準備時間もない、スペースもない、もちろん人も予算もない。そんな条件で、どう資料館をつかっていくか。そこは開き直り、運営上のコンセプト

トとして「未完成の資料館」を打ち出すことにしました。市民とともに資料収集や調査研究を行ったり、展示の作成や更新をしていくことによって、これから資料館を充実させていきます。

展示設計の基本方針は「容易な展示更新」です。予算がなくとも自前で展示を追加・更新できるよう、すべての展示什器類は可動式で、簡単に移動、組み換えができます。解説パネル類もパソコン上でグラフィックを編集・出力して簡単に差し換えられるものです。また、展示室の壁にはマジックテープを使用できる布を張って、パネルやポスターを自由に貼ったり剥がしたりできるようにしています。これらの仕掛けは、見かけは地味かもしれませんが、最新情報への対応や、市民との展示づくりの際に効果を発揮するはずで。

### ■周辺の施設とのネットワーク

当館の最大の問題点は、収蔵スペースがほとんどない、講座・実習スペースがまったくない、という点です。現在のところ、収蔵に関しては既存資料の大半を遠隔施設の空き部屋などに収蔵することでしのいでいます。これから予定している講座等は、ごく小人数に限定して館内の展示準備・資料処理室で行なう、もしくは他の公共施設を借りて開催することで対応する予定です。

当館の近くには、海浜植物保護センターや歴史公園など、自然や歴史を取り扱う、やはり大きくはない既存施設があるので、エコミュージアム的なネットワークを形成することで欠点をカバーし、長所に転換していくことが必要と考えています。

(学芸員 志賀健司)

〒061-3372 石狩市弁天町30-4

TEL/FAX 0133-62-3711

開館時間 9:30~17:00

休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、  
年未年始

入館料 200円(中学生以下は無料)



## 館・園の主な展覧会と普及事業

(2004年6月～2004年10月)

### 石狩

札幌芸術の森美術館(011-591-0090) 6.5～8.22 草間彌生展-クサマトリックス、8.29～10.11 彫刻家 堀内正和の世界展、10.17～12.5 丸山隆展

札幌市豊平川さけ科学館(011-582-7555) 7.11 真駒内川さかなウォッチング、7.18 琴似寒川さかなウォッチング、7.19 星置川さかなウォッチング、9.4～26(予定) さけ科学館20周年記念パネル展、9.24(予定) さけ科学館20周年記念講演会、9.26(予定) さけ科学館20周年記念イベント、10.3、10.11 採卵実習、10-11月 採卵実習(団体受付)、10.17 豊平川サーモンウォッチング、10.24 琴似寒川サーモンウォッチング、10.31 星置川サーモンウォッチング、9月下旬～11月下旬 サケの産卵行動展示

北海道開拓記念館(011-898-0456) 8.27～11.3 特別展「北海道の民俗芸能」、7.6～8.8 テーマ展「見誤った伝統?—アイヌの機織り技術—」

北海道開拓の村(011-898-2692) 7.10～14 移動展「オーロラコーナー」、7.10 むらの講演会「愛媛県の北海道移民-旭川兵村を中心として」、8.1～15 北海道郷土芸能関連展示、9.1～10.11 児童写生会絵画展、9.4 村の講演会「十勝を拓いた静岡県人 依田勉三と晩成社の人々」、10.1～11.14 特別展「暖・談・団～囲炉裏からストーブへ」、10.16、17 博物館ボランティアの集い、10.23 むらの講演会「暖かい暮らしを-囲炉裏からストーブへ」

北海道立文学館(011-511-7655) 7.24～9.26 更科源蔵誕生100年「北の原野の物語」、10.2～24 マジヨモリ・ポエティック-早川司寿乃絵本原画展-

北海道立近代美術館(011-644-6881) 5.29～8.29 視線のエレガンス/バリを描く、6.2～7.11 没後30年 香月泰男展-(私の)シベリア、そして(私の)地球-、7.19～8.29 ピカソ展 幻のジャクリヌ・コレクション、9.4～12.2 画家たちの北海道、9.11～10.24 NANMOS A 流政之展

北海道立三岸好太郎美術館(011-644-8901) 7.2～9.5 三岸美術館へのリクエスト、9.10～11.14 魅惑の女性像

### 渡島・檜山

七飯町歴史館(0138-66-2181) 6.25～8.15 「野鳥の不思議」、9.1～10.25 七飯の源流を探る7「四国地方と七飯」

市立函館博物館(0138-23-5480) 6.29～8.22 特別企画展(本館)「ペリー箱館来航150年」、7.24～9.26 特別展(五稜郭分館)「土道-新撰組と箱館戦争」

北海道立函館美術館(0138-56-6311) 5.29～7.19 リートフェルトの色とかたち、7.24～9.5 世界の絵本作家展、9.12～11.7 スーパーリアリズム展

ピリカ旧石器文化館(01378-3-2477) 7.17、8.21、9.18 石器づくりセミナー「やり先形尖頭器をつくる」、10.16 「細石刃をつくる」

江差町生涯学習センター郷土資料室(01395-2-1047) 3.20～9.20 企画展「箱館戦争と江差」

### 後志

(財)北-ヴェネツィア美術館(0134-33-1717) 6.24～9.22 「ゴッホガラスモザイク絵画展」

小樽市青少年科学技術館(0134-22-0031) 4～10月 天文教室、6.10 月ジュニアクラブ、7.23～8.17 形のふしぎ・ふしぎな形、8.1～7 プラネタリウム特別投影

小樽市博物館(0134-22-1258) 7.17～9.26 小樽の銭湯いまむかし～ノレンのむこうはパラダイス～、7.31 大公開!ペンキ絵製作、8.1 銭湯講演会、8.7 せっけんを作ろう、8.14 クラフト銭湯、9.11 手

ぬぐいを作ろう

小川原脩記念美術館(0136-21-4141) 6.2～7.11 後志ミュージアムロード3館共同展「香月泰男展-あたたかなまなざし」、7.15～8.16 「第46回 麓彩会展」、「造形展-風の中の展覧会」、8.18～9.19 「麓彩会の作家たち5-米澤邦子展」、9.22～10.24 「麓彩会の作家たち6-宮崎むつ展」

余市水産博物館(0135-22-6187) 8.24～10.3 特別展「余市川の人びと」

### 空知

砂川市郷土資料室(0125-52-2339) 6.2～7.26 特別展「馬具展」、10.6～11.15 特別展「思い出の鉄道展」

滝川市美術自然史館(0125-23-0502) 7.17～8.22 企画展「滝川海へたんけん!500万年前のたきかわ」、8.25～27 高文連北空知支部美術展、8.29～9.5 中空知作家展、9.7～12 高文連北空知支部書道展-研究大会、9.17～19 第32回滝川書道連盟展、9.25～10.24 企画展「北海道美術II-戦後の展開期」、10.29～31 市民文化祭

美瑛市郷土史料館(01266-2-1110) 7.10～8.29 第58回特別展 雪国の知恵「利雪への創造」

三笠市立博物館(01267-6-7545) 7.17～10.11 特別展「よみがえるアンモナイトの世界」、7.25-8.1-8.8-9.19 自然観察講座

### 上川

旭川市青少年科学館(0166-22-4171) 6.26-7.17-8.21、28-9.18、25-10.16、23、30 チャレンジ教室、7.3、10-10.2、9 サイエンスショー、7.21～8.22 駄菓子屋と遊びの世界、9.4、11 サイエンスシアター、10.16～24 科学の夢の図画コンクール・模型工作コンクール展示会 士別市立博物館・公会堂展示館(01652-2-3320) 5.30～6.27 第71回特別企画展「郷土に生きた農民詩人～山田伍市展」、7.4 高山植物観察会、7.18～8.22 第72回特別企画展「北海道の木彫り熊～平塚賢智作品展」、8.11 天文教室、10.9 つり体験

中川町エコミュージアムセンター(01656-8-5133) 7.3～9.26 化石が語る恐竜時代の中川-中川地球研究の最前線-、7.24-8.21-9.11、12 地層観察教室、8.7～10 森の学校(ジュニア)夏、10.2 普及教室 温泉調査、10.8～11 森の学校(大人)秋

中原悌二郎記念旭川彫刻美術館(0166-52-0033) 6.1～7.25-7.31～9.26 中原悌二郎賞受賞作家による 彫刻家の素描展、10.2～11.28 あさひかわの彫刻家 寺田 栄展

名寄市北国博物館(01654-3-2575) 6、7月 自然観察会、4～12月 第2土曜日 小さな自然観察クラブ、4～11月 第4土曜日 どんぐりメイト 6.16～30 新緑の樹、7.1～12 北国の木と花とふれあう展、7月 アイヌの有用植物講演会、7.22～8.31 特別展「ひまわり展」、8月 第6回薬用植物ワークショップ、9.4～20 消防100年展、9.23～10.7 名寄岩誕生90年展、10.9～12 児童絵画展、10.15～24 コンドール展、10月 ランプシェード講習会

富良野市博物館(0167-42-2407) 7.18 高山植物ウォッチング、8.1 夏休み体験学習「森のイラスト講座」・「森のクラフト」、8.1～9.12 「岩永泉・どろ亀さんイラスト展」、9.19 秋の富良野歴史・文学散歩、9.24～10.24 「飯塚達央写真展」、9.26 空知川の源流を探る

北海道立旭川美術館(0166-25-2577) 4.1～7.18 新収蔵品展、6.5～7.18 牧野四子吉展、7.24～9.5 石山寺と紫式部、7.24～12.19 人間像-ひとの心とかたち、9.11～10.24 題名のない展覧会

### 留萌

留萌市海のふるさと館(0164-43-6677) 6.27 夏の自然観察、7.24 特別観察会、7.24～9.26 第16回特別展「シェルコレクション～貝・自然の造形のふしぎ」、8.1 磯の観察会、10.31 秋の自然観察

### 網走

斜里町立知床博物館(01522-3-1256) 6月ロビー展「斜里川の生き物たち」、6.27 羅臼岳地質植物観察会、7.4 史跡めぐりの旅バスツアー、7.18 海草観察会、知床海と森の学校(磯の生物観察会)、7月ロビー

一展「昆虫標本展」、8月ロビー展「昆虫標本展」、8.3～8.10 ミュージアムワーク昆虫標本作成講座、8.4～5.11 夏休み体験講座、8.12 ベルセウス流星群観察会、9月ロビー展「植物画展」、9.4 知床海と森の学校(鳴き砂観察会)、9.11 土器づくり体験講座、9.18 秋の夜長鳴く虫の観察会、10.14 部分日食観察会、10.16 知床海と森の学校(ドングリ調べとサケマス観察会)、10.30 知床海と森の学校(温泉体験と動物観察)

**博物館 網走監獄(0152-45-2411)** 7.10～11 監獄食体験、7.31 夏休み体験講座「ハマナス染色体験」、8.7 七夕を楽しもう、8.22 ワークショップ「農園体験 小麦収穫と大根の種まき」、9.15 十五夜まつり、9.19 ワークショップ「農園体験 じゃがいも収穫」9.20～26 二見湖畔神社収穫祭

**美幌農業館・美幌博物館(01527-2-2160)** 5.30～7.4 寄贈資料展、7.11～8.22 実ば身近な外来種、7.25～8.22 ハーブ展、8.29～10.17 特別展「写真家 宮村亦造展」、10.3～11.14 野菜百科

**北海道立北方民族博物館(0152-45-3888)** 6.1～7.4 ロビー展 収蔵資料展、7.3 講習会 モンゴル・ゲルを建てよう、7.17～9.26 特別展 北の遊牧民-モンゴルからシベリアへ、7.18 特別展関連講演会「草原とツンドラの遊牧民」、7.18 講座 特別展解説会、7.24 博物館クラブ 土器を作って焼いてみよう その②、7.31 講習会 モンゴル風蒸餃子「ポーズ」を作ろう、8.7 日本博物館紀行「日本・モンゴル民族博物館」、9.11 講習会 皮でつくる小さなトナカイ、10.15 ワークショップ 伝統社会と先住民社会、10.16-17 第19回北方民族文化シンポジウム、10.23 北海道博物館紀行③「北海道立近代美術館」

**上湧別ふるさと館 J R Y (01586-2-3000)** 8.5～7 体験学習 七夕、10.9-10 宿泊体験「JRYにとまろう」、10.29 文化シンポジウム

**北網圏北見文化センター(0157-23-6700)** 7.24～8.29 開館20周年記念「日本画・北の巨匠 片岡球子・岩橋英遠・山口蓮春展」、9.3～10 夏休み作品標本展、10.31 科学の祭典

**紋別市立博物館(01582-3-4236)** 6.26～7.4 池澤寛・世界の知恵に学ぶ～紋別市の未来像展～、7.7～8.1 市政50周年記念 写真で見る紋別の歴史展、7.24～8.8 「アートとの対話～5つの記憶～」展、8.13～9.12 北の縄文～その折りと美、9.15～20 第3回「東京・札幌・紋別トリエンナーレ展」、9.23～10.6 市政50周年記念「斎藤顕治彫刻展」、10.16～31 博物館サークル活動合同作品展

#### 胆振

**苫小牧市博物館(0144-35-2550)** 7.17～8.29 特別展「砂田友治の世界」、7.31 見学会「博物館めぐり」、10.23 「歴史見学会」、9～11月 郷土学習、10～12月 地球環境学習セミナー

**登別市郷土資料館(0143-8-1339)** 6.26 親子そば打ち体験、7.10 笹舟あそびとソーメン流し体験、7.28-29 夏休み工作教室、8.14 資料館の日「登別化石林」、8.28 絞り染め体験、9.11 資料館の日「レトロな音楽会」、9.25 染め抜き数物づくり体験、10.9 資料館の日「昭和初期の食べ物」、10.23 壁掛づくり体験

**室蘭市民俗資料館(0143-59-4922)** 6.27 ふるさと講座「そば殻枕作り」、7.17～8.15 特別展・南部陣屋史跡開設150年史跡資料展(仮称)、9月中旬 ふるさと講座「石焼き・昔遊び」、10月中旬 企画展・日露戦争100年「屯田兵資料展」(仮称)

#### 日高

**静内町郷土館(01464-2-0394)** 8.1～30 特別展(仮)「教科書」展  
**沙流川歴史館(01457-2-4085)** 10～11月 特別展「ヒグマ・エゾシカの今昔」(仮称)、10.23 「北海道における人と動物のかかわり、今昔」(仮称)

**日高山脈館(01457-6-9033)** 6.26 かわらの石のかんさつ会、6.27 化石・岩石・鉱物の鑑定会(仮)、7.17 昆虫をかんさつしよう、8.7 川で安全にあそぼう、9月 秋の山をたのしもう、10.24 探偵! 石と鉱物

#### 十勝

**おびひろ動物園(0155-24-2437)** 6.26 一日飼育(小5～中3)、7.10

一日飼育(小3.4)、7.19 およこ動物ふれあい教室(小1.2)、7.30～8.1よるの動物園、7.30～8.22 夏の特別展「肉食獣」、8.28 一日飼育(小5～中3)、9.18 一日飼育(小3.4)、10.3 一日飼育(高校生以上)

**帯広百年記念館(0155-24-5352)** 7.1～17 ロビー展「移民のふるさと」、7.10 親子陶芸教室「手形の皿を作ろう」、7.17 親子陶芸教室「葉皿を作ろう」、7.17 郷土学習見学会「坂内衆の足跡を訪ねる」、7.17 博物館講座「移民のふるさと-岐阜県掛妻郡坂内村」、7.31 親子七宝教室「ブローチを作ろう」、8.1 自然観察会「原生花園ウオッチング」、8.21 博物館講座「自由研究の素みつけます」、8.21～25 前期陶芸講座修了作品展、9.11～10.31 特別企画展「樺太アイヌ民族誌」、9.18 博物館講座「レコードと音の文化史XI」、10.1～31 ロビー展「生活史年表展I」、10.13後期陶芸講座開講、10.16 博物館講座「樺太のアイヌ文化」、10.17 郷土学習見学会「十勝平野の生い立ちを探る」

**神田日勝記念館(01566-6-1555)** 6.17 第10回蕨壺祭、6.17～27 超克の標、8.7～16 武蔵野に描く(仮称)、8.10 子どもワークショップ、8.29 第11回馬耕忌、8.28～9.5 グループ環移動展、9.18-23 親子ワークショップ、10.9～17 第10回馬の絵作品展、10.17 芸術鑑賞バスツアー

**足寄動物化石博物館(01562-5-9100)** 7.25 あしよ化石教室②、7月下旬～8月末 世界最古のアカボウクジラ化石、8月上旬 夏休み体験教室、9.5 あしよ化石教室③、10月上旬 秋の探鳥会

#### 釧路

**厚岸町海事記念館(0153-52-4040)** 7.14-9.15-10.13 同友会 厚岸歴史講座、7.24 勾玉づくり教室、8.4 手作り乾電池教室、9.17～30 海の作品展、9.26 第33回ふるさと教室、9月下旬 床潭沼水質調査事業、10月 蝦夷三官寺国泰寺設置200年記念講演会、10.16 土器づくり教室、10.1～11.15 特別展「蝦夷三官寺資料展」(仮称)、10月下旬 ほしぞら教室

**釧路市立博物館(0154-41-5809)** 7.10～8.22 特別展「屋根のない博物館、春採湖」、7.11 北海道・淡水魚保護フォーラム、8.1 語りませんか! 「私の好きな春採湖」、8.5 化石レプリカ教室、8.8 昆虫の名前をしらべる会、9.4・10.3 博物館ツアーガイド・英語でチャレンジ、9.26 第15回 博物館まつり

#### 根室

**別海町郷土資料館(01537-5-0802)** 7.10 ふるさと講座「野付半島遺跡群発掘現場見学会」、7.22～8.20 企画展「開拓使別海街跡所」、9月 第4回加賀家文書館特別展

#### 役員異動

新年度の人事異動等により、次の方が新役員に就任されました。

副会長 佐藤 友哉氏(北海道立近代美術館 学芸副館長)

藤沢 武氏(札幌市円山動物園 園長)

監事 加茂 千秋氏(旭川市博物館 館長)

理事 今 裕氏(名寄市北国博物館 館長)

關部 真幸氏(江別市郷土資料館 館長)

豊田 優子氏(室蘭市青少年科学館 館長)

西 幸隆氏(釧路市立博物館 館長)

#### 新入会・退会会員の紹介

・平成16年度、次の会員が加入しましたのでご紹介いたします。

賛助会員 日宝化学株式会社(東京都)

・平成16年度、次の会員が退会しました。

個人会員 金山 喜昭氏(千葉県野田市)・久保 弘子氏(札幌市)

#### 会費納入のお願い

平成16年度の会費の納入をお願いいたします。北海道博物館協会の事業は会員から納入されます会費で運営しておりますので宜しくお願いいたします。